

# 札幌市営企業調査審議会総会

日時 平成 20年 8月 29日 (金) 午前 10時から  
会場 札幌市役所本庁舎 12階 1~ 5号会議室

## 会議次第

- 1 副市長あいさつ
- 2 委員及び理事者紹介
- 3 会長、副会長の選出
- 4 事業説明 (平成 20年度予算の概要)
- 5 質 疑
- 6 今後の運営方法の審議

## 資 料

- 札幌市営企業調査審議会委員……………資料 1
- 札幌市営企業調査審議会条例……………資料 2

## 事業説明資料

- 平成 20年度交通事業 予算の概要 ……………資料 3
- 平成 20年度水道事業 予算の概要 ……………資料 4
- 平成 20年度下水道事業 予算の概要 ……………資料 5
- 平成 20年度病院事業 予算の概要 ……………資料 6

# 札幌市営企業調査審議会委員

(五十音順、敬称略)

赤城 由紀	札幌国際大学人文学部心理学科准教授
浅井 俊雄	浅井俊雄法律事務所
石原 聰	北海道経営者協会理事・事務局長
板垣 美津子	板垣美津子税理士事務所所長
岩波 剛	社団法人北海道ビルヂング協会理事
大嶋 政實	北海道中小企業団体中央会専務理事
沖崎 裕子	非常勤講師
小澤 輝真	社団法人札幌青年会議所専務理事
河西 紀夫	社団法人札幌市医師会副会長
工藤 和子	社団法人北海道看護協会副会長
佐々木 裕	公募委員
佐藤 郁夫	札幌大学経営学部教授
佐藤 和子	札幌市女性団体連絡協議会会長
佐藤 雅代	北海道大学公共政策大学院特任准教授
渋谷 靖彦	公募委員
菅原 紀夫	株式会社北海道新聞情報研究所代表取締役社長
高橋 幸一	公募委員
高橋 正宏	北海道大学大学院工学研究科教授
瀧谷 和隆	公募委員
武田 佳世子	社団法人札幌消費者協会副会長
谷口 誠	連合北海道札幌地区連合会副会長
中田 輝夫	札幌商工会議所政策委員会委員長
中田 ゆう子	COML札幌患者塾・代表世話人
西澤 寛俊	特別医療法人恵和会西岡病院理事長
浜田 剛一	北海道経済連合会常務理事・事務局長
舟橋 輝明	公募委員
船水 尚行	北海道大学大学院工学研究科教授
松井 佳彦	北海道大学大学院工学研究科教授
村上 一則	株式会社北海道医療新聞社代表取締役

## 札幌市営企業調査審議会条例

昭和 40 年 12 月 15 日

条 例 第 3 2 号

(設置)

第1条 本市の公営企業(以下「公営企業」という。)に関する諸施策の運営に資するため、札幌市営企業調査審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、公営企業に関し、市長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項につき調査審議する。

- (1) 運営管理の方針に関すること
- (2) 財政に関すること
- (3) その他市長が必要と認める事項に関すること

2 審議会は、前項各号に掲げる事項に関し、自ら調査審議して市長に意見を申し出ることができる。

(組織)

第3条 審議会は、委員 30 人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(部会)

第6条 審議会に、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会所属の委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

(会議)

第7条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、総務局において処理する。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

# 平成20年度 交通事業予算の概要

資料

3

## 軌道事業会計

1 予算総括表	1 頁
2 業務量	2 頁
3 主要事業	3 頁

## 高速電車事業会計

1 予算総括表	4 頁
2 業務量	5 頁
3 主要事業	6 頁
4 札幌市営地下鉄事業10か年経営計画の進捗状況	7 頁

【参考】過去10年間の地下鉄輸送人員の推移（3線別・1日平均）

札幌市交通局

# 1 予算総括表

(軌道事業会計)

(税込み、単位：千円)

区分	収 入			支 出			収 支 差 引					
	項 目	20年度予算(A)	19年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	20年度予算(C)	19年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	20年度予算(A)-(C)=(E)	19年度予算(B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)	
当 年 度 収 入	経 常 収 入 及 び 支 出	営 業 収 益	1,091,000	1,132,000	41,000	営 業 費 用	1,355,000	1,382,000	27,000	264,000	250,000	14,000
		営 業 外 収 益	190,000	199,000	9,000	営 業 外 費 用	39,000	36,000	3,000	151,000	163,000	12,000
						予 備 費	10,000	10,000	0	10,000	10,000	0
		小 計	1,281,000	1,331,000	50,000	小 計	1,404,000	1,428,000	24,000	123,000	97,000	26,000
		特 別 利 益				特 別 損 失						0
		計	1,281,000	1,331,000	50,000	計	1,404,000	1,428,000	24,000	123,000	97,000	26,000
及 び 支 出	資 本 的 収 入 及 び 支 出	企 業 債	241,000	303,000	62,000	建 設 改 良 費	290,000	366,000	76,000	純損失 135,100	純損失 111,000	差引 24,100
		他 会 計 補 助 金	45,000	59,000	14,000	企 業 債 償 還 金	92,000	117,000	25,000			
						予 備 費	10,000	10,000	0			
		計	286,000	362,000	76,000	計	392,000	493,000	101,000	106,000	131,000	25,000
出		当年度分損益勘定留保資金	179,000	175,400	3,600					179,000	175,400	3,600
		合 計	1,746,000	1,868,400	122,400	合 計	1,796,000	1,921,000	125,000	50,000	52,600	2,600
		過年度分資金過不足額	355,154	407,754	52,600				0	355,154	407,754	52,600
		総 計	2,101,154	2,276,154	175,000	総 計	1,796,000	1,921,000	125,000	305,154	355,154	50,000

20年度予算の過年度分資金過不足額欄は決算見込額である。

## 2 業務量

(軌道事業会計)

区 分		20年度予算 (A)	19年度		差 引 増 減			
			当初予算 (B)	決算見込 (C)	当初予算対比		決算見込対比	
					増 減 (A)-(B)=(D)	増減 率(%) (D)/(B)	増 減 (A)-(C)=(E)	増減 率(%) (E)/(C)
在籍車両数		両 30	両 30	両 30	両 0	0.0	両 0	0.0
走行キロ		千Km 1,045	千Km 1,048	千Km 1,050	千Km 3	0.3	千Km 5	0.5
輸 送 人 員	年 間	千人 7,665	千人 7,873	千人 7,572	千人 208	2.6	千人 93	1.2
	一 日 平 均	人 21,000	人 21,500	人 20,693	人 500	2.3	人 307	1.5
乗車料収入		百万円 1,034	百万円 1,075	百万円 1,025	百万円 41	3.8	百万円 9	0.9

### 3 主要事業

(軌道事業会計)

(単位：千円)

項 目	平成20年度 予 定 (A)	平成19年度 予 算 (B)	差 引 (A) - (B)	事 業 の 主 な 内 容	
建設改良事業	290,000	366,000	76,000	百万円 建設改良事業	
同上財源内訳	企業債	241,000	303,000	62,000	軌道改良 軌道改良 83 南18条～ロブウェイ入口間 226m 他 曲線部2箇所 計317m
	一般会計補助金	45,000	59,000	14,000	分岐器更新 75 すすきの 他 3箇所 電気転てつ器更新 8 車両改良 121 200形車両 2両 その他設備更新 3
	そ の 他	4,000	4,000	0	

# 1 予算総括表

(高速電車事業会計)

(税込み、単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引			
	項 目	20年度予算(A)	19年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	20年度予算(C)	19年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	20年度予算(A)-(C)=(E)	19年度予算(B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)	
当年度 収益的 収入及び 支出	経常 営業収益	41,056,000	41,264,000	208,000	営業費用	34,052,000	33,721,000	331,000	7,004,000	7,543,000	539,000	
	営業外収益	7,740,000	8,435,000	695,000	営業外費用	13,604,000	15,492,000	1,888,000	5,864,000	7,057,000	1,193,000	
					予備費	40,000	40,000	0	40,000	40,000	0	
	小計	48,796,000	49,699,000	903,000	小計	47,696,000	49,253,000	1,557,000	1,100,000	446,000	654,000	
	特別利益				特別損失						0	
	計	48,796,000	49,699,000	903,000	計	47,696,000	49,253,000	1,557,000	1,100,000	446,000	654,000	
入 及 び 支 出	資本的 収入及び 支出	企業債	34,697,000	25,349,000	9,348,000	建設改良費	12,239,000	13,629,000	1,390,000	純利益 626,000	純損失 116,000	差引 742,000
	出資金	3,971,000	4,227,000	256,000	投資	48,000	0	48,000				
	国庫補助金	532,000	234,000	298,000	企業債償還金	47,030,000	35,537,000	11,493,000				
	他会計補助金	4,891,000	5,096,000	205,000	受託工事費	1,252,000	1,900,000	648,000				
	受託工事収益	1,252,000	1,900,000	648,000	予備費	20,000	20,000	0				
	計	45,343,000	36,806,000	8,537,000	計	60,589,000	51,086,000	9,503,000	15,246,000			
当年度分損益勘定留保資金	14,451,000	14,139,000	312,000					14,451,000	14,139,000	312,000		
合計	108,590,000	100,644,000	7,946,000	合計	108,285,000	100,339,000	7,946,000	305,000	305,000	0		
過年度分資金過不足額			0		1,830,000	2,135,000	305,000	1,830,000	2,135,000	305,000		
総計	108,590,000	100,644,000	7,946,000	総計	110,115,000	102,474,000	7,641,000	1,525,000	1,830,000	305,000		

19年度予算の過年度分資金過不足額欄は繰越工事資金310,094千円を除いた金額である。  
20年度予算の過年度分資金過不足額欄は決算見込額である。

## 2 業務量

(高速電車事業会計)

区 分	20年度予算 (A)	19年度		差 引 増 減			
		当初予算 (B)	決算見込 (C)	当初予算対比		決算見込対比	
				増 減 (A)-(B)=(D)	増減 率(%) (D)/(B)	増 減 (A)-(C)=(E)	増減 率(%) (E)/(C)
在籍車両数	両 382	両 396	両 396	両 14	3.5	両 14	3.5
走行キロ	千Km 34,960	千Km 35,457	千Km 35,278	千Km 497	1.4	千Km 318	0.9
輸 送 人 員	年間 千人 209,875	千人 211,182	千人 209,958	千人 1,307	0.6	千人 83	0.0
	一日平均 人 575,000	人 577,000	人 573,654	人 2,000	0.3	人 1,346	0.2
乗車料収入	百万円 37,848	百万円 38,114	百万円 37,790	百万円 266	0.7	百万円 58	0.2

参考(線別の一日平均乗車人員)

線 別	20年度予算 (A)	19年度		差 引 増 減			
		当初予算 (B)	決算見込 (C)	当初予算対比		決算見込対比	
				(A)-(B)=(D)	(D)/(B) (%)	(A)-(C)=(E)	(E)/(C) (%)
南北線	239,000	236,000	238,313	3,000	1.3	687	0.3
東西線	204,000	205,000	204,026	1,000	0.5	26	0.0
東豊線	132,000	136,000	131,315	4,000	2.9	685	0.5

### 3 主要事業

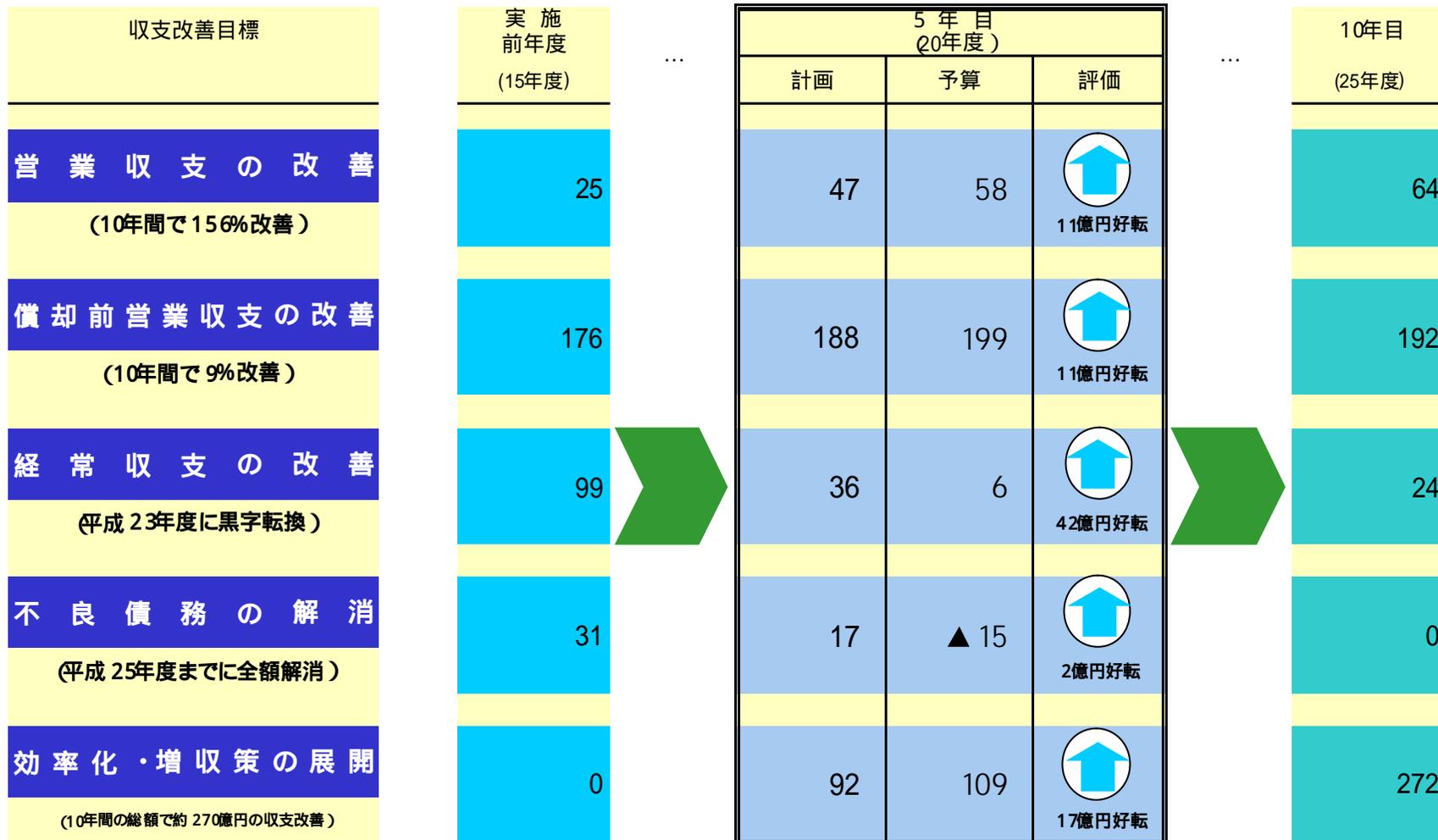
(高速電車事業会計)

(単位：千円)

項 目	平成20年度 予 定 (A)	平成19年度 予 算 (B)	差 引 (A) - (B)	事 業 の 主 な 内 容	
建設改良事業	12,239,000	13,629,000	1,390,000	建設改良事業 百万円 東西線車両更新 2,819 6000形車両3編成更新	
同 上	企業債	8,514,000	10,153,000	1,639,000	東西線可動式ホーム柵設置 工事 2,636
	一般会計出資金	2,416,000	2,664,000	248,000	自動出改札装置等の更新 2,592 ICカード導入に伴う関連機器の新設及び更新 (ICカード対応化を含む)
財 源	国庫補助金	532,000	234,000	298,000	火災対策 1,481 避難通路2駅等 バリアフリー対策 253 中島公園駅他8駅(誘導点字タイル設置等) 南北線高架部耐震補強工事 210 高架部単注式橋脚31本
	一般会計補助金	777,000	578,000	199,000	[参考] ・受託工事 地下鉄駅エレベーター等整備事業 389 北18条、北12条 札幌駅前通地下歩行空間整備事業 863
内 訳	そ の 他	0	0	0	

## 4 札幌市営地下鉄事業10か年経営計画の進捗状況

(単位:億円、数値は消費税を除く)



【参考】過去10年間の地下鉄輸送人員の推移（3線別・1日平均）

（単位：人、％）

	地下鉄全線		南北線		東西線		東豊線	
	人員	前年度比	人員	前年度比	人員	前年度比	人員	前年度比
平成10年度	564,966	-2.2	243,877	-3.1	207,165	-1.7	113,924	-0.9
平成11年度	566,294	0.2	236,555	-3.0	215,087	3.8	114,652	0.6
平成12年度	565,193	-0.2	234,624	-0.8	215,558	0.2	115,011	0.3
平成13年度	563,625	-0.3	230,451	-1.8	214,303	-0.6	118,871	3.4
平成14年度	563,846	0.0	230,149	-0.1	213,126	-0.5	120,571	1.4
平成15年度	557,039	-1.2	227,661	-1.1	207,218	-2.8	122,160	1.3
平成16年度	560,041	0.5	228,740	0.5	207,242	0.0	124,059	1.6
平成17年度	569,512	-1.7	236,345	3.3	205,879	-0.7	127,288	2.6
平成18年度	574,853	0.9	237,351	0.4	207,035	0.6	130,467	2.5
平成19年度	572,041	-0.5	235,797	-0.7	205,523	-0.7	130,721	0.2

# 平成20年度水道事業 予算の概要

資料

4

1	予 算 総 括 表	.....	1 頁
2	業 務 量	.....	2
3	主 要 事 業	.....	3

# 1 予算総括表

(単位 千円)

区分	収 入				支 出				収 入 支 出 差 引			
	項 目	20年度予算 A	19年度予算 B	差引増減 A-B	項 目	20年度予算 C	19年度予算 D	差引増減 C-D	20年度予算 A-C=E	19年度予算 B-D=F	差 引 E-F	
当年度 収入及び支出	経常損益収支	営業収益	43,647,000	44,040,000	393,000	営業費用	34,445,000	34,703,000	258,000			
		営業外収益	445,500	448,500	3,000	営業外費用	6,310,000	7,346,000	1,036,000			
						予備費	20,000	20,000	0			
		小計	44,092,500	44,488,500	396,000	小計	40,775,000	42,069,000	1,294,000	3,317,500	2,419,500	898,000
		特別利益	500	500	0	特別損失	91,000	107,000	16,000	90,500	106,500	16,000
	計	44,093,000	44,489,000	396,000	計	40,866,000	42,176,000	1,310,000	3,227,000	2,313,000	914,000	
	資本的収入及び支出	企業債	企業債	3,000,000	11,653,100	8,653,100	建設改良費	9,660,298	11,708,512	2,048,214	↓ 収支差引(税抜) = 当年度純利益 (2,792,371)   (1,789,175)   (1,003,196) ↓ 予定処分後純利益 756,371   345,484   410,887	
			建設企業債	3,000,000	4,200,000	1,200,000	企業債償還金	12,271,306	19,439,155	7,167,849		
		借換債	0	7,453,100	7,453,100	建設企業債償還金	12,271,306	11,986,055	285,251			
		出資金	542,396	781,434	239,038	借換債償還金	0	7,453,100	7,453,100			
補助金		806,867	1,018,232	211,365	出資金	520,396	702,333	181,937				
加入金		1,063,394	1,125,250	61,856	予備費	20,000	20,000	0				
負担金		30,343	34,984	4,641								
計		5,443,000	14,613,000	9,170,000	計	22,472,000	31,870,000	9,398,000	17,029,000	17,257,000		228,000
当年度分損益勘定留保資金等	11,661,526	11,642,874	18,652					11,661,526	11,642,874	18,652		
合計	61,197,526	70,744,874	9,547,348	合計	63,338,000	74,046,000	10,708,000	2,140,474	3,301,126	1,160,652		
過年度繰越金	3,905,041	7,206,167	3,301,126					3,905,041	7,206,167	3,301,126		
総計	65,102,567 (65,102,567)	77,951,041 (70,497,941)	12,848,474 (5,395,374)	総計	63,338,000 (63,338,000)	74,046,000 (66,592,900)	10,708,000 (3,254,900)	1,764,567	3,905,041	2,140,474		

1. 19年度予算の過年度繰越金は前年度決算置換後である。
2. 金額は消費税込みである。
3. 予定処分額は、平成19年度1,443,691千円、平成20年度2,036,000千円である。
4. 総計欄の( )内は借換債を除いた金額である。

## 2 業務量

区 分		20年度予算 A	19年度		差引増減			
			当初予算 B	決算見込 C	当初予算対比		決算見込対比	
					増減 A-B=D	比率 (%) D/B	増減 A-C=E	比率 (%) E/C
人口等	給水区域内人口 (人)	1,897,384	1,891,003	1,888,728	6,381	0.3	8,656	0.5
	給水人口 (人)	1,894,445	1,887,978	1,885,703	6,467	0.3	8,742	0.5
	普及率 (%)	99.8	99.8	99.8	0.0	-	0.0	-
	給水世帯数 (世帯)	877,949	867,030	863,618	10,919	1.3	14,331	1.7
水量等	年間配水量 (m <sup>3</sup> )	197,272,000	199,127,000	196,292,270	1,855,000	0.9	979,730	0.5
	1日最大配水量 (m <sup>3</sup> )	681,000	680,100	612,340	900	0.1	68,660	11.2
	1日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	540,500	544,100	536,318	3,600	0.7	4,182	0.8
	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	181,096,000	182,301,000	181,068,196	1,205,000	0.7	27,804	0.0
	有収率 (%)	91.8	91.6	92.2	0.2	-	0.4	-
年度末給水件数 (件)		784,704	764,418	766,701	20,286	2.7	18,003	2.3
年度末配水管布設延長 (m)		5,777,080	5,737,831	5,755,863	39,249	0.7	21,217	0.4

### 3 主要事業

(単位 千円)

項 目	20年度予算 A	19年度予算 B	差 引 A-B	事 業 の 主 な 内 容	
導・浄水施設	244,500	815,000	570,500	<b>施設整備事業</b> 導・浄水施設 豊平川水道水源水質保全事業 水道施設保安強化整備事業 送・配水施設 白川第3送水管新設工事 高区配水施設耐震化工事(西岡高台) 高区配水施設整備工事(宮の沢高台、羊ヶ丘流入管) 緊急貯水槽 新陵小学校(手稲区) 配水管 幹 線 6.35km 枝 線 17.68km 補 助 管 4.00km 市街化調整区域 2.63km 合 計 30.66km ブロック配水施設 2ヶ所 水管橋耐震補強 橋	
送・配水施設	2,395,900	3,352,000	956,100		
配 水 管	4,441,600	5,074,000	632,400		
計	7,082,000	9,241,000	2,159,000		
同上財源内訳	企 業 債	3,000,000	4,200,000		1,200,000
	国庫補助金	164,000	415,400		251,400
	一般会計負担金	30,343	34,984		4,641
	そ の 他	3,887,657	4,590,616		702,959
	合 計	7,082,000	9,241,000		2,159,000

#### 第2次札幌新まちづくり計画」に掲げた事業

- ・緊急貯水槽等整備事業」.....緊急貯水槽(100m<sup>3</sup>)×5ヶ所、緊急管路(750m<sup>3</sup>)×1ヶ所 平成21年度完了予定
- ・札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化」.....対象12病院 平成22年度完了予定

# 平成20年度下水道事業 予算の概要

資料

5

1	予 算 総 括 表 .....	1 頁
2	業 務 量 .....	2
3	主 要 事 業 .....	3

# 1 予算総括表

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 入 支 出 差 引				
	項 目	20 予 算 A	19 予 算 B	差 引 A-B	項 目	20 予 算 C	19 予 算 D	差 引 C-D	20 予 算 E (A-C)	19 予 算 F (B-D)	差 引 E-F		
当 年 度 の 収 入 及 び 支 出	経 常 的 収 入	営 業 収 益	43,560,721	43,483,131	77,590	営 業 費 用	34,280,999	33,893,184	387,815				
		営 業 外 収 益	152,111	152,610	499	営 業 外 費 用	9,731,917	11,242,349	1,510,432				
						予 備 費	30,000	30,000	0				
		小 計	43,712,832	43,635,741	77,091	小 計	44,042,916	45,165,533	1,122,617	330,084	1,529,792	1,199,708	
	特 別 利 益	1,168	1,259	91	特 別 損 失	93,084	131,467	38,383	91,916	130,208	38,292		
	計	43,714,000	43,637,000	77,000	計	44,136,000	45,297,000	1,161,000	422,000	1,660,000	1,238,000		
	分 資 本 的 収 入 及 び 支 出	企 業 債	企 業 債	15,346,000	21,631,600	6,285,600	建 設 改 良 費	16,425,527	17,323,692	898,165	純損失	純損失	差引
			建 設 企 業 債	9,839,000	10,028,000	189,000	建 設 事 業 費	16,400,000	17,300,000	900,000	841,054	2,066,763	1,225,709
			資 本 費 平 準 化 債	5,507,000	3,595,000	1,912,000	そ の 他	25,527	23,692	1,835			
			高金利対策分借換債	0	8,008,600	8,008,600	償 還 金	22,970,565	28,305,904	5,335,339			
国 庫 補 助 金		4,515,000	5,383,000	868,000	水 洗 化 等 貸 付 事 業 費	26,567	27,404	837					
一 般 会 計 出 資 金		160,000	0	160,000	投 資	25,000	0	25,000					
一 般 会 計 補 助 金		1,397,876	1,894,358	496,482	返 還 金	38,341	0	38,341					
負 担 金		957,557	792,638	164,919	予 備 費	20,000	20,000	0					
水 洗 化 等 貸 付 事 業 収 入		26,567	27,404	837				0					
計		22,403,000	29,729,000	7,326,000	計	39,506,000	45,677,000	6,171,000	17,103,000	15,948,000	1,155,000		
出	当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	17,271,034	16,843,411	427,623				0	17,271,034	16,843,411	427,623		
合 計	83,388,034	90,209,411	6,821,377	合 計	83,642,000	90,974,000	7,332,000	253,966	764,589	510,623			
過 年 度 分 内 部 留 保 資 金	7,569,741	8,334,330	764,589				0	7,569,741	8,334,330	764,589			
総 計	90,957,775	98,543,741	7,585,966	総 計	83,642,000	90,974,000	7,332,000	7,315,775	7,569,741	253,966			

1. 平成19年度予算は当初予算である。

2. 過年度分内部留保資金の平成19年度予算は平成18年度決算置換後、平成20年度予算は平成19年度補正予算後の数値である。

3. 消費税込の数値である。

## 2 業務量

区 分				20年度予算 A	19 年 度		差 引 増 減			
					当初予算 B	決算見込 C	当初予算対比		決算見込対比	
							増 減 A - B = D	増減率 (%) D / B	増 減 A - C = E	増減率 (%) E / C
総 人 口		千人	ア	1,900	1,897	1,894	3	0.2	6	0.3
下水道普及状況	管 路 総 延 長	km		8,143.4	8,100.4	8,085.6	43.0	0.5	57.8	0.7
	処 理 面 積	ha		24,594	24,555	24,539	39	0.2	55	0.2
	処 理 人 口	千人	イ	1,894	1,889	1,887	5	0.3	7	0.4
	総 人 口 普 及 率	%	イ/ア	99.7	99.6	99.6	0.1	0.1	0.1	0.1
水洗化普及状況	水 洗 化 可 能 人 口	千人	ウ	1,894	1,889	1,887	5	0.3	7	0.4
	水 洗 化 人 口	千人	エ	1,888	1,883	1,882	5	0.3	6	0.3
	水 洗 化 普 及 率	%	エ/ウ	99.7	99.7	99.7	0	0	0.0	0.0
処 理 水 量 等	年 間 処 理 水 量	千m <sup>3</sup>		354,425	352,316	340,339	2,109	0.6	14,086	4.1
	晴 天 時 最 大 処 理 水 量	千m <sup>3</sup> /日		955.3	949.7	918.3	5.6	0.6	37.0	4.0
	処 理 能 力	千m <sup>3</sup> /日		1,173.8	1,173.8	1,173.8	0	0	0	0
	処 理 固 形 物 量	t		59,353	59,944	57,145	591	1.0	2,208	3.9
	年 間 有 収 水 量	千m <sup>3</sup>		210,316	205,416	205,064	4,900	2.4	5,252	2.6

### 3 主要事業

(単位:千円)

項目	20年度予算 A	19年度予算 B	差引 A - B	事業の主な内容	
管 路	6,643,324	6,721,228	77,904 ( 1.2)	管路整備延長 23.7km、ポンプ場8か所、処理場等11か所 一般整備 (4,900,000千円) 管 路)一般整備(新認定道路等)、新市街地、市街化調整区域、他事業関連等 16.1km	
ポ ン プ 場	1,954,200	944,995	1,009,205 (106.8)	処理場)水再生プラザ(初沈・終沈覆蓋設置)等 改築更新・再構築 (9,560,000千円) 管 路)汚泥圧送管、老朽管対策、軟弱地盤対策 4.6km	
処 理 場	7,802,476	9,633,777	1,831,301 ( 19.0)	ポンプ場)茨戸東部中継ポンプ場電気設備改築(H19~H21)等 処理場)東部スラッジセンター焼却施設増設(H19~H21) 西部スラッジセンター濃縮棟増設(H20~H22) 水再生プラザ機械電気設備改築等	
計	16,400,000	17,300,000	900,000 ( 5.2)	浸水対策 (690,000千円) 管 路)雨水拡充管(菊水地区等) 2.0km 水質改善 (240,000千円) 管 路)合流式下水道吐口対策(4箇所) 処理場)豊平川貯留管ポンプ施設設計等	
同 上 財 源 内 訳	企 業 債	9,839,000	10,028,000	189,000	雪対策 (20,000千円) 処理場)新琴似北流雪溝送水施設
	国 庫 補 助 金	4,515,000	5,383,000	868,000	地震対策 (670,000千円) 管 路)管路耐震補強(植物園周辺等) 1.0km
	負 担 金	949,305	786,483	162,822	汚泥圧送管二条化(新川 西部スラッジセンター)等 処理場)水再生プラザ耐震化
	そ の 他	1,096,695	1,102,517	5,822	有効利用等 (120,000千円) ポンプ場)流入幹線計装設備設置、遠方監視制御設備改築等 処理場)汚泥資源化の調査

(注) 1. 19年度予算は、当初予算とする。

2. 建設改良費のうち建設事業費について記載。

## 平成20年度病院事業 予算の概要

1	予 算 総 括 表 .....	1 頁
2	業 務 量 .....	2
3	主 要 事 業 .....	3
	【参考】 公立病院改革プランについて .....	4

# 1 予算総括表

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引			
	項 目	20年度予算 A	19年度予算 B	差 引 A-B	項 目	20年度予算 C	19年度予算 D	差 引 C-D	20年度予算 E(A-C)	19年度予算 F(B-D)	差 引 E-F	
当 年 度 分 収 入 及 び 支 出	経 常 損 益	医 業 収 益	18,147,321	17,310,514	836,807	医 業 費 用	20,912,612	20,542,485	370,127			
		医 業 外 収 益	3,175,279	3,324,086	148,807	医 業 外 費 用	1,297,124	1,316,016	18,892			
						予 備 費	10,000	10,000	0			
		小 計	21,322,600	20,634,600	688,000	小 計	22,219,736	21,868,501	351,235	897,136	1,233,901	336,765
	特 別 利 益	77,400	77,400	0	特 別 損 失	69,264	89,499	20,235	8,136	12,099	20,235	
	計	21,400,000	20,712,000	688,000	計	22,289,000	21,958,000	331,000	889,000	1,246,000	357,000	
	資 本 的 収 入 及 び 支 出	企 業 債	560,000	1,268,000	708,000	建 設 改 良 費	625,000	1,333,292	708,292	当年度純利益(純損失)(消費税抜き)		
		出 資 金	233,400	233,400	0	企 業 債 償 還 金	1,826,300	1,712,008	114,292	889,893	1,247,841	357,948
		負 担 金	1,184,600	1,141,600	43,000	長 期 借 入 金 償 還 金	355,700	355,700	0	年度末未処分利益剰余金(累積欠損金)		
						予 備 費	1,000	1,000	0	18,220,038	17,330,145	889,893
計		1,978,000	2,643,000	665,000	計	2,808,000	3,402,000	594,000	830,000	759,000	71,000	
出	当年度分損益勘定留保資金	1,761,294	1,609,080	152,214					1,761,294	1,609,080	152,214	
	合 計	25,139,294	24,964,080	175,214	合 計	25,097,000	25,360,000	263,000	42,294	395,920	438,214	
過 年 度 分	資 金 過 不 足 額	2,538,948	2,934,868	395,920					2,538,948	2,934,868	395,920	
	総 計	27,678,242	27,898,948	220,706	総 計	25,097,000	25,360,000	263,000	2,581,242	2,538,948	42,294	

19年度予算の過年度分資金過不足額欄は、18年度決算置き換え後の数字である。

## 2 業務量

区 分		20年度予算 A	19年度		差 引 増 減				
			当初予算 B	決算見込 C	当初予算対比		決算見込対比		
					増減 A-B = D	増減率 (%) D / B	増減 A-C = E	増減率 (%) E / C	
本 院	一 般 病 床	病 床 数 (床)	(795) 810	(795) 810	(795) 810	0	0.0	0	0.0
		年 間 入 院 患 者 数 (人)	261,158	261,873	254,569	715	0.3	6,589	2.6
		占 床 率 (%)	(90.0) 88.3	(90.0) 88.3	(87.5) 85.9	0.0	-	2.4	-
		年 間 外 来 患 者 数 (人)	499,608	489,755	503,806	9,853	2.0	4,198	0.8
		1日平均入院患者数 (人)	716	716	696	0	0.0	20	2.9
		1日平均外来患者数 (人)	2,056	1,999	2,056	57	2.9	0	0.0
	感 染 症 病 床	病 床 数 (床)	8	8	8	0	0.0	0	0.0
		年 間 入 院 患 者 数 (人)	0	0	0	0	0.0	0	0.0
		占 床 率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	-
		年 間 外 来 患 者 数 (人)	0	0	0	0	0.0	0	0.0
		1日平均入院患者数 (人)	0	0	0	0	0.0	0	0.0
		1日平均外来患者数 (人)	0	0	0	0	0.0	0	0.0
静 療 院	病 床 数 (床)	162	162	162	0	0.0	0	0.0	
	年 間 入 院 患 者 数 (人)	48,910	48,678	42,935	232	0.5	5,975	13.9	
	占 床 率 (%)	82.7	82.1	72.4	0.6	-	10.3	-	
	年 間 外 来 患 者 数 (人)	37,908	38,465	38,098	557	1.4	190	0.5	
	1日平均入院患者数 (人)	134	133	117	1	0.8	17	14.5	
	1日平均外来患者数 (人)	156	157	156	1	0.6	0	0.0	
合 計	病 床 数 (床)	(965) 980	(965) 980	(965) 980	0	0.0	0	0.0	
	年 間 入 院 患 者 数 (人)	310,068	310,551	297,504	483	0.2	12,564	4.2	
	占 床 率 (%)	(88.0) 86.7	(87.9) 86.6	(84.2) 82.9	0.1	-	3.8	-	
	年 間 外 来 患 者 数 (人)	537,516	528,220	541,904	9,296	1.8	4,388	0.8	
	1日平均入院患者数 (人)	850	849	813	1	0.1	37	4.6	
	1日平均外来患者数 (人)	2,212	2,156	2,212	56	2.6	0	0.0	

(注1) ( )は稼働病床数ベースである。

(注2) 一般病床には救急を含む。

### 3 主要事業

(単位:千円)

項	目	20年度予算 A	19年度予算 B	差 引 A - B	事 業 の 主 な 内 容
	医療器械購入費等	525,000	425,000	100,000	磁気共鳴画像診断装置 (MRI)増設、超音波診断装置更新など MR 検査室整備工事など
	その他病院整備	100,000	40,000	60,000	
	総合医療情報システム整備	-	868,292	868,292	
	計	625,000	1,333,292	708,292	
財 源 内 訳	企 業 債	560,000	1,268,000	708,000	
	一般会計出資金	32,500	32,500	0	
	そ の 他	32,500	32,792	292	

# 公立病院改革プランについて

## 1 公立病院改革の概要

近年、多くの公立病院において、その経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しくなっており、地域において必要な医療を安定かつ継続的に提供するためには、抜本的な改革の実施が避けられない状況となっている。

こうした状況を踏まえ、総務省は、昨年12月「公立病院改革ガイドライン」を提示し、各地方公共団体に対して、平成20年度中に「公立病院改革プラン」を策定のうえ病院事業経営の改革に総合的に取り組むことを求めている。

## 2 病院局の取り組み

病院局では、平成17年6月策定の「市立札幌病院パワーアッププラン」、平成18年1月策定の「市立札幌病院中期経営計画」に基づき、できるものは直ちに取組むという姿勢で経営改善に取り組んできている。

このたびのプランの策定については、国からの要請に基づくことに加えて、7対1看護やDPCの導入などの計画策定時には予定していない新たな取り組みに伴い、現行計画の収支の前提条件が大きく変わるなどからも、新たな経営改革プランの策定を必要とするものである。

そのため、「公立病院改革ガイドライン」を踏まえて、今回の改革を契機に、市立札幌病院の担う役割を確認するとともに、更なる収支改善策を検討していく。

また、プラン策定にあたっては、札幌市営企業調査審議会の病院部会などにおいて有識者等の助言を得るとともに、パブリックコメントなどの意見公募も行いながら、市民の意見を把握し、適切にプランに反映していく。

<平成21年3月確定・公表を予定>

### 《「公立病院改革ガイドライン」のポイント》

#### 1 役割の明確化

採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供するとの視点のもと、公立病院としての果たすべき役割を見直すうえ、明確化すること。また、当該役割を踏まえ、一般会計が負担すべき経費の範囲や算定基準を明確に設定すること。

#### 3 再編・ネットワーク化

病院間での機能の重複・競合を避け、相互に適切な機能分担が図られるよう診療科目等の再編成に取り組むこと。特に、都心部においては、統合、再編、事業譲渡等にも踏み込んだ大胆な改革案についても検討すべき。

#### 2 経営の効率化

平成21年度からの3年以内に「経常黒字」を達成すること。特に、同一地域に民間病院が多く立地している公立病院にあつては、「民間病院並みの効率性」の達成を目標とすること。

#### 4 経営形態の見直し

経営に関する権限と責任が明確に一体化する運用が担保される必要があるとの観点から、選択肢として、地方公営企業法全部適用、地方独立行政法人化、指定管理者制度、民間譲渡を提示。なお、地方公営企業法全部適用で所期の効果が達成されない場合は、地方独立行政法人化など、更なる経営形態の見直しに向けて取り組むことが適当。